

訓練計画（訓練種目・内容） 記載例 ※内容は自由に構成してください

時間	訓練種目	参加者	訓練内容	備考
6:30	情報伝達訓練	学区防災防犯協会	各種媒体、地域の連絡網を使い、訓練開始の情報伝達を行う	必要事項や使用資機材の記入
6:35	広報訓練	消防団	地域役員、消防団などと協力し、地域住民に避難広報を行う	
	各戸訓練	学区住民	地域住民の住居を見回り、安否の確認を行う	
	近隣退避場所への避難訓練	学区住民	あらかじめ地域で定められた場所へ避難。（非常持出品の確認）	
7:00	避難・誘導訓練	学区防災防犯協会 地域防災連絡員 警察官・交通指導員	近隣退避場所から避難場所へ住民・災害時避難行動要支援者の避難・誘導を行う。	
	避難所運営訓練	地域防災連絡員 避難所運営担当者	感染症対策を加味したレイアウト作り、避難所運営委員会の設置、避難者の集計など、円滑に避難所運営を行う	
7:30	現地災害対策本部設置訓練	地域防災連絡員 避難所運営担当者	地域住民・市職員が協力し、現地の被害状況を取りまとめるため、現地災害対策本部を設置する	
	被害・避難状況報告訓練	学区防災防犯協会 地域防災連絡員 消防団 婦人自主防災クラブ	避難場所へ避難後、町内会で避難人員・被害状況を取りまとめ報告を行う	
8:00	防災ラジオメッセージ放送訓練	参加者全員	防災ラジオの緊急割込み機能を使用し、緊急情報の放送を行う	
8:05 ～ 8:50	救援物資搬送訓練	陸運協会 トラック協会	地域内輸送拠点からの物資を各支所へ各支所から避難所へ搬送する	
	給水訓練	上下水道局 管工事協同組合	給水バック等に応急給水を行う	
	応急危険度判定訓練	建築部施設保全課	応急危険度判定士による応急危険度判定を行う	
	救助救出訓練	消防団・消防署	身近にある道具や防災備蓄倉庫にある資機材で救出を行う	
	搬送訓練	学区防災防犯協会 学区住民 消防団	災害時にけがをした人や要配慮者（障がい者、高齢者、妊婦、子ども等）を迅速に搬送を行う	
	炊き出し訓練	学区住民 赤十字奉仕団	食料等の調理方法と配給方法について実践を行う	
	初期消火訓練	消防団・消防署	火災の拡大を防ぐため、初期段階での消火方法を実践を行う	
	土のう工法訓練	学区住民 土木災害安全協会	堤防から漏水があった場合や内水氾濫による浸水を防ぐため、土のうを積んで水を溜める方法の実践を行う	
	応急手当訓練	消防団 婦人自主防災クラブ 学区防災防犯協会	災害時にけがをした避難者に対して応急手当を行う。また、心肺停止した避難者の救命処置を行う	
	防災備蓄倉庫備蓄品展示	学区防災防犯協会	防災備蓄倉庫内の備蓄品を展示し、内容品の周知を行う	
	放水訓練	消防団・消防署	火災時の消防署・消防団の放水活動を行う	
9:00	シェイクアウト訓練	参加者全員	地震を想定して参加者が一斉に安全行動（1-2-3）を行う。	
9:05	講評・来賓照会		講評 来賓	

**訓練種目をドロップ
ダウン選択すると訓練内容が自動入力
されます。
変更がなければ入力
不要です。
時間・参加者・備考
は入力が必要です。**

訓練種目	訓練内容
情報伝達訓練	各種媒体、地域の連絡網を使い、訓練開始の情報伝達を行う
防災ラジオメッセージ放送訓練	防災ラジオの緊急割込み機能を使用し、緊急情報の放送を行う
防災行政無線送受信訓練	防災行政無線を使用し災害情報の伝達を行う
衛星携帯電話送受信訓練	衛星携帯電話を使用し災害情報の伝達を行う
広報訓練	地域役員、消防団などと協力し、地域住民に避難広報を行う
各戸訓練	地域住民の住居を見回り、安否の確認を行う
近隣退避場所への避難訓練	あらかじめ地域で定められた場所へ避難。（非常持出品の確認
現地災害対策本部設置訓練	地域住民・市職員が協力し、現地の被害状況を取りまとめるため、現地災害対策本部を設置する
被害・避難状況報告訓練	避難場所へ避難後、町内会で避難人員・被害状況をとりまとめ報告を行う
避難・誘導訓練	近隣退避場所から避難場所へ住民・災害時避難行動要支援者の避難・誘導を行う。
避難所開設訓練	避難所の早期開設のための準備、避難所利用者登録票、健康状態チェックシート、ペット登録台帳の記載等を行う
避難所運営訓練	感染症対策を加味したレイアウト作り、避難所運営委員会の設置、避難者の集計など、円滑に避難所運営を行う
災害時図上訓練（DIG）	地域のハザードの確認、危険個所の洗い出し、地域のボスア対策などを地図を使用し確認を行う
避難所運営ゲーム（HUG）	災害時の行動をイメージし、避難所生活に必要なスペース、物資を考え、地域で協力して運営が行える配置などを平面図上にレイアウトを行う
クロスロード	過去の災害により出た問題を地域住民で考え、地域住民同士の考えのすり合わせをゲーム形式で行う
シェイクアウト訓練	地震を想定して参加者が一斉に安全行動（1-2-3）を行う。
地震体験訓練	地震発生時に落ちていて身を守る行動を取り、避難時に取るべき行動の確認を行う
煙道体験訓練	火災時における煙の怖さと避難方法などを体験を行う
避難所宿泊体験訓練	模擬的に避難所生活をしながら宿泊を行う
119番通報訓練	消防のオペレーターの質問に対して答え消防車や救急車を要請を行う
初期消火訓練	火災の拡大を防ぐため、初期段階での消火方法を実践を行う
応急手当訓練	災害時にけがをした避難者に対して応急手当を行う。また、心肺停止した避難者の救命処置を行う
防災備蓄倉庫資機材取扱い訓練	防災備蓄倉庫内の資機材を確認し、実際に使用することで使用方法、組み立て方法を実践を行う
炊き出し訓練	食料等の調理方法と配給方法について実践を行う
土のう工法訓練	堤防から漏水があった場合や内水氾濫による浸水を防ぐため、土のうを積んで水を溜める方法の実践を行う
救助救出訓練	身近にある道具や防災備蓄倉庫にある資機材で救出を行う
搬送訓練	災害時にけがをした人や要配慮者（障がい者、高齢者、妊婦、子ども等）を迅速に搬送を行う
防災備蓄倉庫備蓄品展示	防災備蓄倉庫内の備蓄品を展示し、内容品の周知を行う
食品衛生訓練	避難所の衛生管理を行う
健康チェック訓練	保健師による避難者の健康チェックを行う
ペット避難訓練	避難所でのペットの飼養を行う
給水訓練	給水バック等に応急給水を行う
下水トイレ設営訓練	下水トイレの設営を行う
ごみ収集訓練	避難所ごみの分別の啓発、収集を行う
応急危険度判定訓練	応急危険度判定士による応急危険度判定を行う
耐震化促進啓発	住宅の耐震化の啓発
コミュニティ通訳訓練	避難所での外国人対応を通訳員が行う

救援物資搬送訓練

非常通信訓練

地域パトロール

倒木撤去訓練

ボランティア受入れ運営訓練

仮設住宅設営訓練

車両展示

分電盤展示、啓発

手話啓発

放水訓練

地域内輸送拠点からの物資を各支所へ各支所から避難所へ搬送する

非常時において、県職員による県災害対策本部への通信報告を行う

行政・防災関係機関による地域パトロールを行う

倒木の撤去を行う

ボランティアの受入れとその運営を行う

仮設住宅の設置を行う

各種特殊車両の展示

分電盤等、電気機器の取り扱いの啓発

聴覚障害者のための手話の啓発

火災時の消防署・消防団の放水活動を行う

講評・来賓照会

講評

来賓

)